

市長と話そう 八代のまちづくり ～なんでん いいなっせ！～



市政への意見などを「なんでん いいなっせ！」と、市民と市長の直接対話を通じて住民参加型の市政を進める「市長と話そう 八代のまちづくり」を、7月から市内全域21校区で開催しました。

今回は11月1日号の続編として10校区分の各会場での主な発言や意見などの質疑をお知らせします。

坂本（9月28日・坂本公民館）

Q 八代の農業は停滞している。農業技術者も不足しているので農林業専門の職員養成をお願いしたい。

A 八代にとって農業は命。八代に農業大学校とかを設置できたらと考えている。東京のデパートの地下食料品売り場では八代トマトの値段は一番安い。八代の農業は作るだけでなく売ることを考えていこう。

Q バス路線の変更や廃止に伴い、乗合タクシーになった。街へ行く人にとっては便利だが、街から来る人には大変な負担になる。バス路線の見直しをお願いしたい。

A 乗客が毎年5万人減っている状況で、年間1億9400万円の補助金を交付して路線を維持してきた。この見直しについては1年半にわたり検討を続けてきたもの。今後、様々なご意見を伺って、より利用しやすいバス路線にしたい。

Q 鳥獣被害がひどいので、有害鳥獣の駆除の補助金について知りたい。

A 鹿は8千円／頭、いのしし対策の電柵設置については2万円／件の補助金をしている。猟友会に相談して駆除を進めていくが、猟友会も高齢化が進んでいるので、新しい発想での解決策が望まれている。

松高（10月5日・松高公民館）

Q 松高公民館は建設から22年経っている。和室は利用も多いが手狭になって

きているので広くしてほしい。

A 市内の16の校区公民館のうち、旧耐震基準で建てられた公民館が8つあり、現在、耐震診断を行っている。その結果によって、改築などの判断を行うが、急を要するものから優先的に行う予定。

松高公民館は、比較的新しい部類に入っているが、意見を参考にしながら対応していきたい。

Q 早く新しいごみ処理施設を造って欲しい。

A 新しいごみ処理施設の予定地は県と国の所有地で、住んでいる人はなく13の事業所がある。この中で魚市場が課題であろうが、漁協関係者には福岡にある排水の出ない最新の施設も見ていただいた。今後とも皆さんと一緒に考えながら早期の建設に向けて進めていきたい。

Q 市の防災マップでもわかるように、井揚町には避難場所になるような高台も公園もない。また、年寄りがゲートボールなどで遊ぶ場所もないので、公園を作ってほしい。

A 松高校区全体で見れば、松崎公園、高島公園など、7カ所の公園があり、他の校区に比べて多い。井揚町は農業振興地域であり、公園を造ることは将来的にも厳しいと思われる。また、校区内で避難場所が2カ所あるのは、松高校区だけである。



▲八代市乗合タクシー

八千把（10月8日・八千把公民館）

Q 古閑中町の区画整理事業の進捗率が見えない。あと何年かかるのか？

A 当初の予定では平成24年終了予定だったのを、平成27年まで延伸した。今年度、保留地の分譲を開始する。総額49億5千万円の工事費のうち、現在23億5千万円ほど終了しており工事費からみる進捗率が47%となっている。

Q 市民球場のサブグラウンドについて、建設前には地域住民に優先的に使わせるという確約があったが、10年前から平日しか使えないようになった。年に1回だけでもいいから、土日使わせてほしい。

A 市民球場は、年に130回程度の利用があるが、どうしても土日の利用になり、試合前の練習などはサブグラウンドで行ったりしている。しかし皆様のご要望もあるので、現状を調査して地元が優先的に使えるように検討したい。

Q 住民自治の説明会を聞いてこれで大丈夫なのかと思った。町内会の自治



▲工事が進む南部幹線の橋脚

というのをどれくらい把握しているか？町内会の人たちみんなが自治というのを理解するよう啓発に努めてほしい。

A 来年度中にモデル地域を選定して充分協議し、24年度からモデル地区をスタートさせたい。講演会なども行っているがなかなか浸透していないのが現状。いろんな機会を通して啓発していきたい。

植柳（10月15日・植柳公民館）

Q 植柳小学校のグラウンドは高低差があり、雨が降ると土が流され石がごろごろ出てきている。危険なので安全安心なグラウンドに整備して欲しい。

A 現状は確認しており、根本的な解決には2500万円ほどかかりそうだが、現在、学校施設の耐震補強にお金がかかっている現状であるが、子どもたちのためにも、グラウンド整備もやる方

向を進めたい。

Q 植柳地域の振興のためには南部幹線の早期完成が望まれるが、現在の進捗状況を聞かせて欲しい。

A 南部幹線は、平成9年度から取り組んでおり、全長5.6kmのうち1kmを市が担当し、市の分は、60%ぐらい進んでいる。県の部分は、現在、県が新幹線関係の工事に集中している状況なので進んでいないが、今後とも早期完成を要望していく。

Q 町内放送がよく聞こえないので、どうにかして欲しい。

A 防災無線は、6月から使用しているが、一部聞こえにくいなどの意見もいただいている。現在、スピーカーの数や向きなど、その対策を検討しているところであり、各校区の皆様と相談させていただきたい。

高田（10月19日・高田公民館）

Q 高田水源地から日奈久地区に一日1500トンの水を送っている。来春JRAが開業するが、高田地区の水源が心配である。JRAは一日何トンの水を使うのか？

A 高田水源は、昭和40年から、日奈久に通水をして50年近くになる。昨年度の実績として一日平均1670トン。JRAの使用計画量は、営業日（週2回）が一日65トン〜68トン、営業しない日は25トンの予定である。計算だけで実際の把握は出来ないが、類似施設の状況で確認している。

Q 高田校区の下水道計画を聞きたい。

A 下水道普及率は全国75%、県60%、八代市は40%と低い。八代は、マイナスゼロメートル地区が多く、汚水より雨水整備が先行している。今の所、高田、植柳、日奈久は長期計画では平成27年度位から見直しをかけ、28年度認可が取れるならと思っている。

Q 高田公民館は建設から37年経過している。「耐震調査では問題無い」とのことだが、地震が起きたら大丈夫だろうか？

A 公民館の建て替え要望が6つの校区から出ているが、現在は小・中学校の耐震化工事を急いでいる状況。耐震調査では大丈夫との結果が出ているが、かなり傷んでいるので、皆さんの声を聞いて早めに検討したい。

麦島（10月22日・麦島公民館）

Q 八代インター付近が新幹線駅前に流通センターをつくったらどうか。

A 私もインターチェンジを中心とした物流拠点都市を理想としている。ただ、この周辺は優良農地であること、また法律でも、後継者がいる農地は転用が難しい状況になってきているなど課題も多い。民間の活力を生かした利用を目指していきたい。

Q 熱心に部活を行っている小、中学校も多



▲富田薬品新物流センター

いが、校区民体育祭は、子どもたちにとっても地域住民とふれあう貴重な機会なので、部活を休みにして参加できるようにできないものだろうか。

A 子どもたちを育てるためには、家庭と学校と地域が一緒になって、取り組んでいかなければならない。地域行事も大切な勉強の場なので、積極的に参加できるような協力体制を学校にも働きかけていきたい。

Q 市の防災マップの中で、麦島校区には色づけがない。これは、洪水の可能性がないということなのか、また、その根拠などを教えて欲しい。

A 市のハザードマップは、国土交通省と熊本県が出しているデータに基づいて作成しており、麦島地域は、堤防で守られており大丈夫ということであった。次に地震を想定したマップを配付する予定。どの地区がどの程度危険なのかなど地図に示しているので参考にしていただきたい。

龍峯（10月25日・龍峯公民館）

Q 龍峯幼稚園の園児が4人しかいない。今後どうなるのか心配。

A 市報で募集を行い、来年の入園者数などを参考に検討したいと思う。幼稚園は一日4時間という制限があるが、在園時間を延長できないか検討しているところ。

Q 龍峯校区の山側は危険地帯と聞いている。龍峯校区の防災公園はどうなっているのか。

A 龍峯地区は今年の3月30日から都

市長と話そう 八代のまちづくり ～なんでん いいなっせ!～

5ページからの続き

市計画区域に入った。公園については、平成21年度に測量設計が終わり、今年度不動産鑑定や土地の調査をやっている。今後、地権者への説明会を行ない。来年度用地取得、平成24～25年度あたりで工事を実施予定。

Q 資源分別指導員を行なっているが、ペットボトルのラベルは剥ぐのか？潰すのか？

A 平成21年度より始めた、プラスチック製袋類の収集については、皆様の協力のおかげで約40トン増加している。ペットボトルのラベルは剥がなくてもよい。また、潰す必要もない。

代陽（10月28日・代陽公民館）

Q 中心市街地の活性化のために「袋町の旧堤防撤去」を要望したい。

A 撤去することで、市街地への交通アクセスは良くなると思うが、交差点は複雑な交通処理となるだろう。また、莫大な事業費を要することから、費用対効果は低いと思われる。

Q 旭中央通りにホルトの木が植えられているが、10月に入ると落葉の量が多く、毎朝の掃除が大変である。剪定を9月末に行なって欲しい。

A これまで、業者に依頼して落葉後に剪定をしていた。樹木の管理上、「落葉前に剪定ができるか」を確認して対応を図りたい。

Q 以前に話があった都市計画道路「リバーサイド線」は、その後どうなっているのか。

A 「リバーサイド線」は、平成3年に

商店街の活性化をめざして計画されたものだが、財政面の理由もあり、いまだ未着手となっている。現在、すぐに事業着手できる状況ではないので、計画から20年経過する時点で行っている事業見直しで、再度検討していきたい。

太田郷（11月9日・太田郷公民館）

Q 大雨の際、農業用水があふれて田んぼと道路の区別がつかないようなことがある。子どもたちの安全のために、対策をお願いしたい。

A 最近では、急激に大量の雨が降るので、被害があれば、その都度、ご連絡をお願いしたい。幹線排水の対策として、藻を切ったりしているが、単に切るだけでは水の流速が上がり下流に被害をもたらすこともあるので苦慮している。

Q プロ野球のキャンプを八代に誘致したらどうか？雨天練習場などの整備



▲ごみの分別収集

が必要となるかもしれないが検討してほしい。

A キャンプ地実績のある宮崎市より、八代市は気温が3℃低く雨が多くて、キャンプ地としては不利な状況。雨天練習場に加えて、野球のキャンプ地としては多数のサブグラウンドが必要となる。個人的にはサッカーなら有望ではないかと考えている。

Q 東中洲公園の管理をしているが、管理する人の高齢化が進み、除草剤無しでは管理できない。今後、除草剤の使用はできないのか？

A 除草剤のかかった草に子どもたちが触ったりするので、公園管理要項には除草剤を使用しないよう記載している。場所によっては除草剤を使える場所があるのかもしれないので検討したい。

八代（11月11日・八代公民館）

Q 八代市のごみ収集指定袋には、大袋、中袋、小袋があるが、高齢者世帯の増加に伴い排出量が減少するので、小袋よりも小さいサイズを新設して欲しい。また、指定袋の形状を工夫して同じサイズの袋でも多く入るようにできないか？さらに、指定袋をガラスに見えにくいと言われる黄色に変更してはどうか？

A 指定袋のサイズや形状については、今後、研究したい。なお黄色の袋については、ガラス除け効果が一時的であるとの話も聞いているので、検討させたい。

Q 築添から高島へ向かう道路の山下酒



▲八代外港コンテナヤード

店前交差点は、狭くて大型車も進入してくる。拡幅するような計画はないか？

A この交差点は以前からの課題であったが、やっと所有者との話がまとまり、整備する目途がついた。ただ、まだ居住者がおられるので、移転が済んでからなるべく早期に拡幅に取りかかりたい。

Q 八代港が、せっかく重点港湾に指定されたので、雇用につながるような計画を進めて欲しい。

A 現在、熊本県からのコンテナ出荷の9割が博多港からという状況。八代港が荷を獲得するには大変な努力が必要だが、本市としても、11月1日に「重点港湾八代港営業隊」を組織するなど、八代港のセールスに決意をもって取り組んでいく。